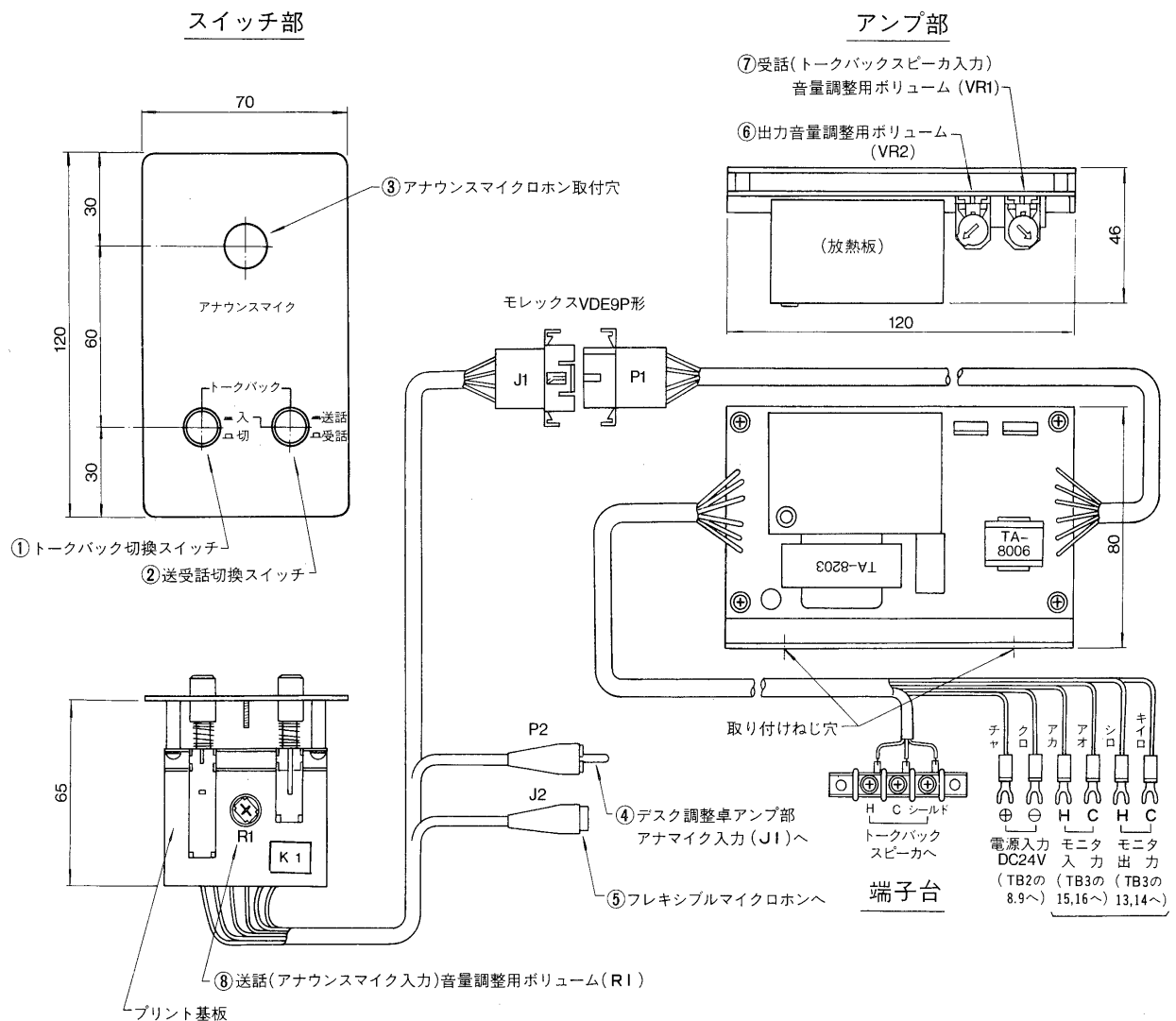


東芝トークバックユニット取扱説明書

ABU-2

このたびは、東芝トークバックユニットをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お求めのトークバックユニットを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

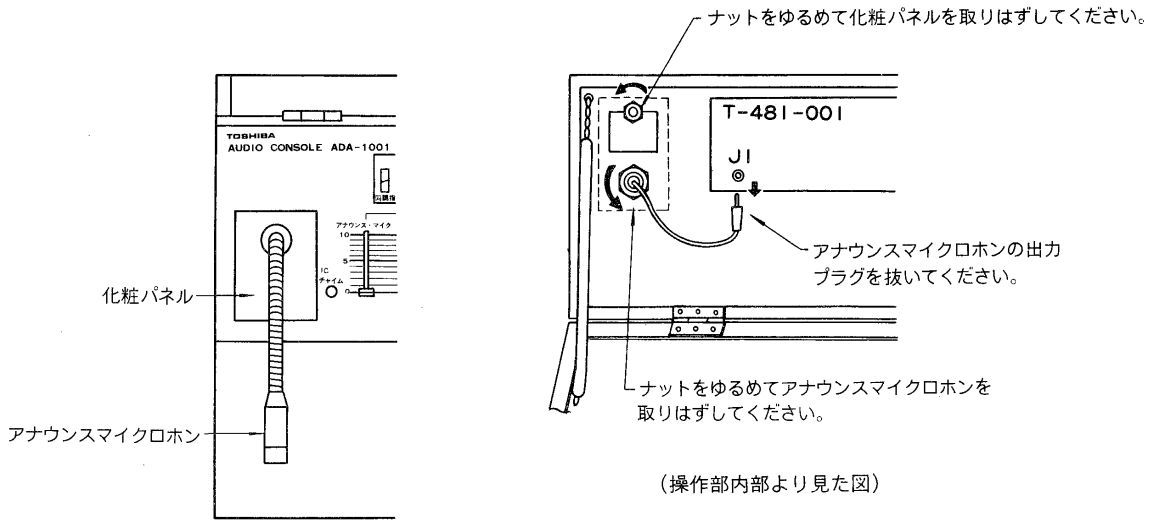
各部のなまえ



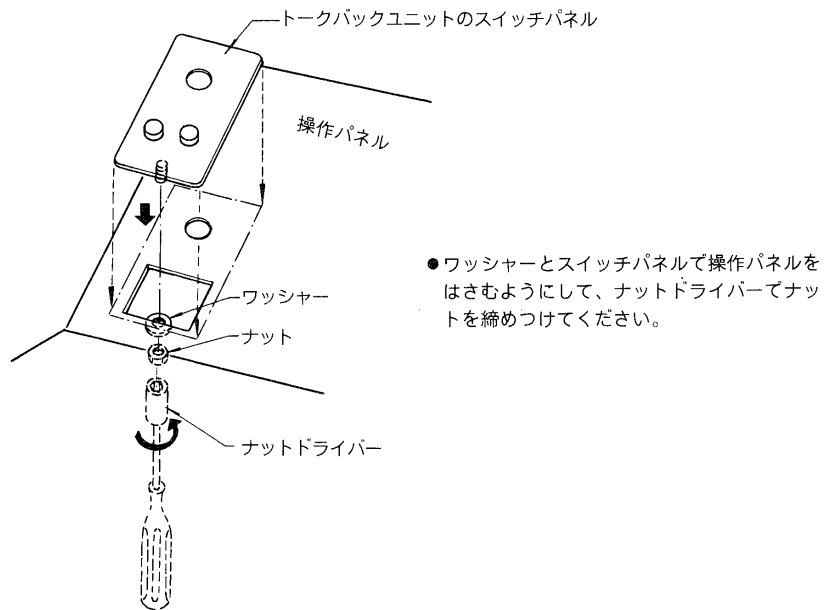
取り付け、接続のしかた

■下記の手順に従って取り付けてください。

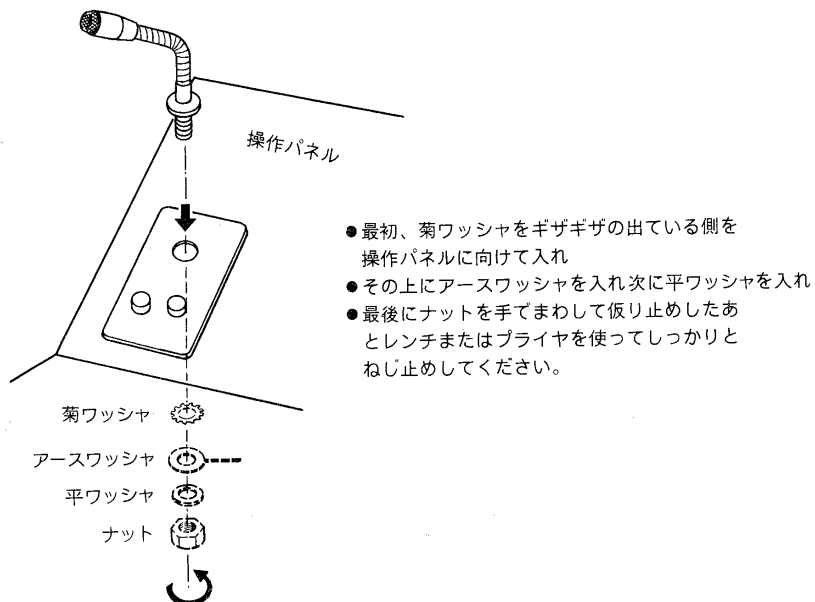
1. 操作部を開き、下図のようにアナウンスマイクロホンと化粧パネルを取りはずしてください。



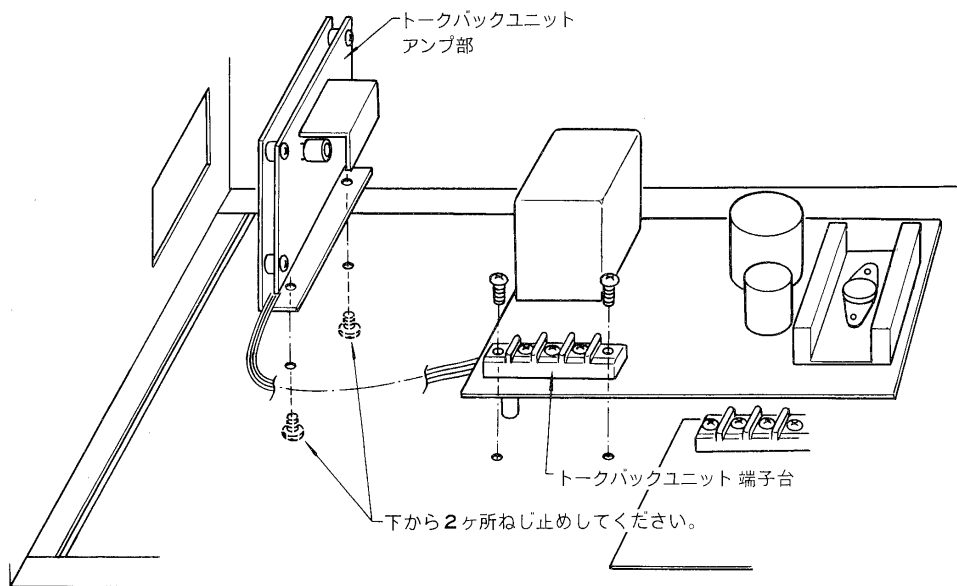
2. 取りはずした化粧パネルのかわりに、お求めのトークバックユニットのスイッチパネルを下図のように取りつけてください。



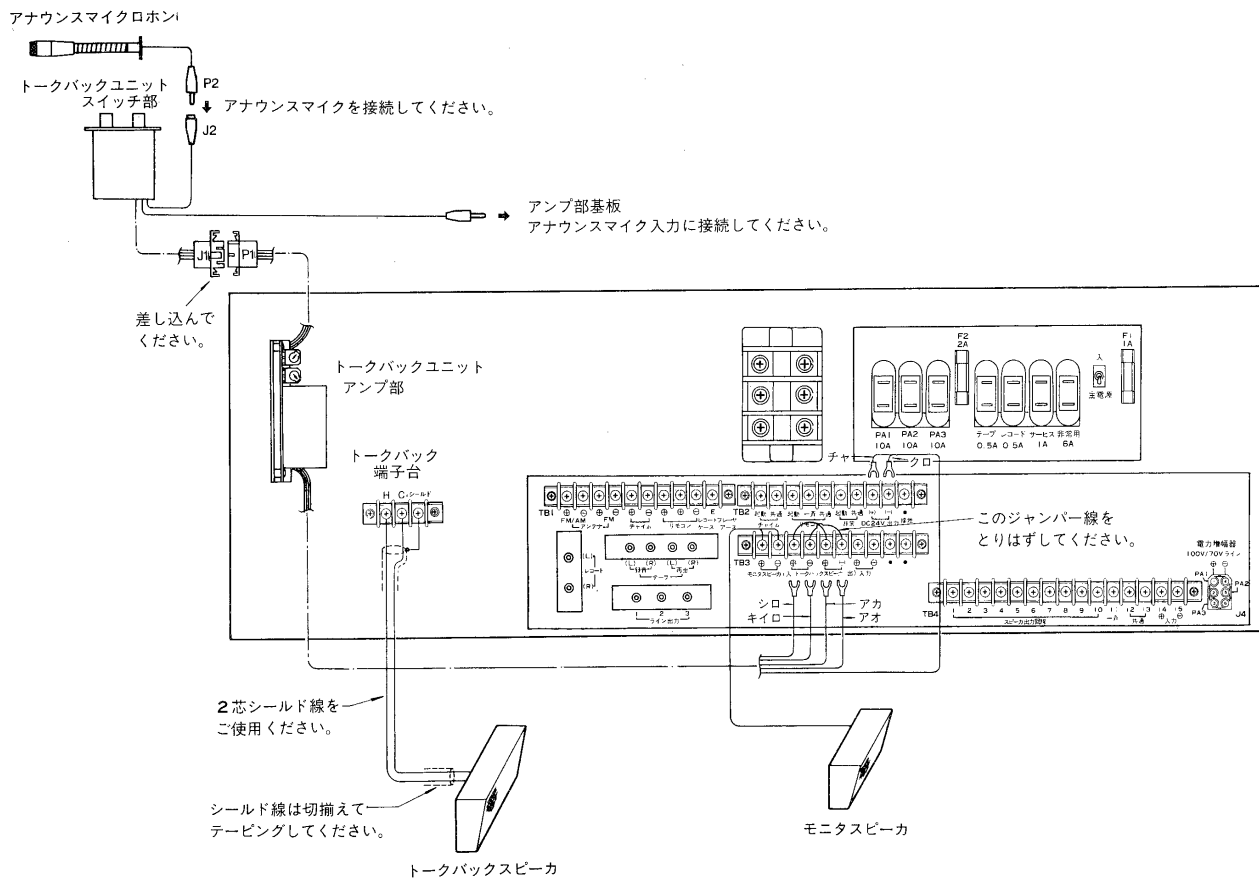
3. アナウンスマイクロホンを取り付けてください。



4. アンプ部および端子台を下図のように操作部内部の底板に取り付けてください。



■取り付けが完了しましたら、下図のように接続してください。

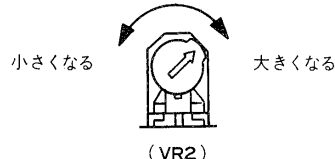
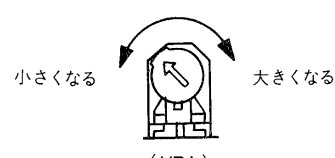
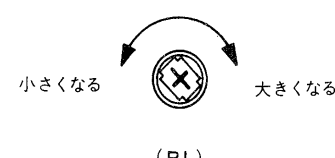


トークバックの使いかた

- トークバック切換スイッチ①が“切”の状態では、モニタスピーカで通常の放送内容をモニターできます。
- トークバック切換スイッチ①を押して“入”にしますと、トークバックの受話状態に切りかわりトークバックスピーカに向かって相手が話す内容をモニタスピーカより聞くことができます。
送受話切換スイッチ②を押しますと、押している間だけアナウンスマイクロホンに向かって話す内容が相手のトークバックスピーカより放送されます。
相手の状態をよく聞きわけて送話、受話を切り換えながらトークバックを行なってください。
- 送話、受話の音量が大きすぎたり、小さすぎる場合は下記の“トークバック音量の調整のしかた”に従って調整してください。
- 終わりましたらトークバック切換スイッチ①を“切”にしてください。

トークバック音量の調整のしかた

- 下表に従って調整してください。

症 状	調 整 方 法
全体的に送話、受話とも音量が小さかったり大きかったりする場合	出力音量調整用ボリューム(VR2)⑥をまわして調整してください。  (VR2)
モニタスピーカから聞こえる音量が小さかったり大きかったりする場合	受話(トークバックスピーカ入力)音量調整用ボリューム(VR1)⑦をまわして調整してください。  (VR1)
トークバックスピーカから出る音量が小さかったり大きかったりする場合	送話(アナウンスマイク入力)音量調整用ボリューム(R1)⑧をまわして調整してください。  (R1)

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ電源を切ってお買いあげの販売店またはお近くの東芝消費者ご相談センター、東芝家庭電器サービスステーションにご相談ください。
なお、ご相談されるときは機器の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

規 格

電 源	DC 24 V
消 費 電 流	無信号時 DC 70 mA 定格出力時 DC 350 mA
マイク入力	-50 dB、10 k Ω 、不平衡
トークバック入力	-40 dB、10 k Ω 、不平衡
定 格 出 力	3 W、3 k Ω 、平衡
周 波 数 特 性	送話：100~8000 Hz \pm 6 dB 受話：500~8000 Hz \pm 6 dB
信号対雑音比	50 dB 以上
歪 率	2 %以下 (1 kHz、定格出力時)
塗装色 (パネル)	オフブラックメタリック塗装
重 量	700 g
付 属 品	本 体----- 1 アンプ部取付ねじ (M3 \times 8)----- 2 端子台取付ねじ (M3 \times 15)----- 2 取扱説明書----- 1 サービスステーション一覧表----- 1

東芝トークバックユニット ABU-2 接続図

